

東京女子大学 ポリシー策定の全学的な基本方針

東京女子大学は、建学の精神、教育理念・目的、及び学則のもと、「広い識見と創造性を有し、専門性をもつ教養人として、現代社会の多様な課題を主体的に解決しうる女性」の教育・育成を目指しています。

本学では諸活動の質保証*の観点から、教育目標の実現に向け策定する3ポリシーについて、「ポリシー策定の全学的な基本方針」を以下のとおり定めます。

* 自らの責任で自学の諸活動について点検・評価を行い、その結果をもとに改革・改善に努め、これによって教育の質を自ら保証すること。

■策定単位

<ディプロマ・ポリシー>

学部においては学部単位、研究科においては課程別専攻単位で策定する。

<カリキュラム・ポリシー>

学部においては学部単位、研究科においては課程単位で策定する。

<アドミッション・ポリシー>

学部においては学科単位、研究科においては課程別専攻単位で策定する。

■策定方針

<全体の方針>

- ・本学の建学の精神、教育理念・目的に基づき策定する。
- ・各ポリシーの一貫性・一体性・整合性に留意する。
- ・具体的かつ分かりやすく記述する。

<学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)>

- ・卒業認定・学位授与において、学生が身に付けているべき資質・能力・姿勢を示す。
- ・育成する人物像を示す。

<教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)>

- ・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を実現させるための、教育課程の編成、教育内容と方法、及び学修成果の評価方法を示す。

<入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)>

- ・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)のもと、受け入れる学生に求める学生像、入学に際し求められる学力水準、入学者選抜等の方針を示す。

■運用方法

- ・3つのポリシーは教育の質の向上・発展を行うための内部質保証の起点とし、定期的に検証を行う。
- ・3つのポリシーに基づく学修成果については、アセスメントポリシーに従って可視化し、情報公開に努める。